

# 【「書くこと」部会】

## 第3学年 国語科学習指導案

指導者 熊本市立東町中学校 教諭 厚地宏二郎

### 1 題材

「説得力のある文章を書こう 意見を主張する」（光村図書3年）

### 2 題材について

#### (1) 生徒の実態

本学級は38名、授業態度は良好である。

1学期当初の実態調査（教研式NRT学力検査）によると、全国平均値を3.0として全領域の平均値は3.86で書くことが3.71と4領域の中で「書くこと」に関する平均値は低い。また、小問「作文の描写の批評・評価」「材料の収集」が全国平均を下回っている。

生徒アンケートによると、「書くこと」の領域を苦手と感じている生徒が32%、中でも意見文を書くことは37%の生徒が苦手としている。主な理由としては「どんなことについて書いたらいいかわからない」という主題設定に関わるものが多かった。「説得力のある文章」とはどういう文章かという問いには「根拠や理由がきちんと書かれている」という回答も多かったが、的はずれな「常体で書いてある文章」などという回答もあった。短い（200字～400字）意見文を書かせたところ、根拠は全員あげて書けていた。反論とそれに対する解決案まで書けていた生徒は7人。正しい表記がでなかった生徒が7人。

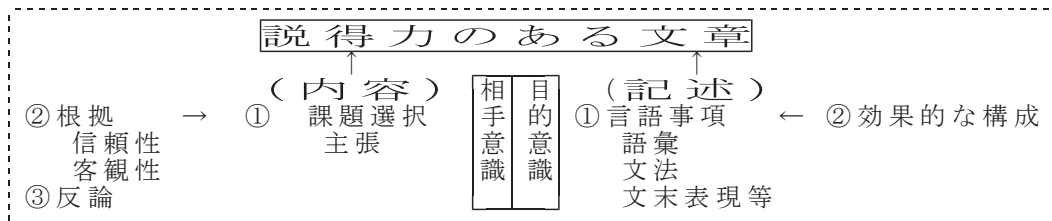
「主題文を書き、具体的事例と意見とをきちんと整理して文章を書く」「幅広く情報を集めて自分の意見を深める」「反論をふまえて意見を主張する」といった論理的な展開の文章を書く学習は2年次の「根拠を明らかにして書こう」で行っているが、反論をふまえた論理的な展開までできている生徒は少ない。

#### (2) 題材観

「説得力のある文章を書く」ためには書き手の考えが説得力をもって伝わるように、材料の選び方や文章全体の構成、記述を工夫して書く必要がある。まず明確な意見を持つこと。そしてそれを支える根拠が重要になってくる。根拠も含めて文章全体の正確さや妥当性も吟味していく必要がある。具体的には「主張や提案の効果」「提案の実現性」「根拠の正確さ」などである。

このような観点から意見を見直し、自分の主張を補強していくことを学習させたい。また、説得力のある文章構成とはどんなものかを考えさせたい。具体的には主張を述べ、立場や意見を明確にする。次に根拠を示しそれらを受けて具体的な提案を述べるといった構成の基本を身につけさせたい。提案の良い点だけでなく問題点も示し、それに対する解決策を示すなど文章の説得力を高める方法についても学ばせたい。その際、書き手と読み手の「対話」を通じて双方が納得する文章を書くことで、さまざまな視点から物事を認識し、自分の思いや考えも深めることもできる。

これらの力を身につけることで、これからの社会生活の中で自分のものの見方や考え方を深めることができる。さらに、自分の考えをよりよく相手に伝えるコミュニケーション能力を高め、現代に必要な言語生活を拓くことにつながると考えられる。



#### (3) 系統観

「書くこと」特に「報告・意見文」に関する系統は以下に示す通りである。

	小学校5・6年	1年	2年	3年
報告文・意見文	レポートの書き方 情報の編集、発信	調べたことを正 確にまとめよう	根拠を明らかに して書こう	説得力のある文 章を書こう

#### (4) 指導観

今回の学習では研究の視点①②に基づいて以下のような指導を行いたい。

- ① 本研究テーマである『対話』を手段として取り入れることで説得力のある文章を書く上で必要な力を身につけさせたい。
- ② 主張を支える題材を集める段階や反論を考える場面、推敲する場面で「対話」を取り入れる。さまざまな角度から情報や資料を集め自分の意見を再構築させる。

### 3 題材の指導目標

- (1) 社会生活の中から課題を決め、取材を繰り返しながら自分の考えを深めるとともに、文章の形態を選択して適切な構成を工夫する。(23-B-A)
- (2) 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書く。(23-B-E)
- (3) 書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに、ものの見方や考え方を深める。(23-B-Oカ)

### 4 評価規準

ア 国語への関心 ・意欲・態度	・読み手に対して明確な主張を持った文章を書こうとしている。 ・他の人の文章を読み、論理の展開や材料の活用の仕方などについて、積極的に自分の表現の参考にしようとしている。
イ 書くこと	・主張の部分とそれを支える事実とを分けて書くことができる。 ・自分の主張と反対の立場をふまえた文章構成ができている。 ・自分が書いた文章の段落の設け方、段落相互の関係、論点と論拠の関係などについて検討し、説得力のある文章にしている。 ・結論に導くための根拠や理由の述べ方、材料の活用の仕方などの観点から互いの書いた文章を吟味し合い自分の表現に役立てている。
ウ 言語事項についての知識・理解 ・技能	・自分の立場や考えを明確にし説得力のある表現にするためにふさわしい語句を選び、適切に使っている。 ・多様な表現様式や展開、文の成分の順序などについて考えている。

### 5 指導計画（全6時間）

次	時		学習活動	指導上の留意点	主となる評価規準と評価方法
第一次	1	発想認識	・さまざまな情報から自分の考えや意見をメモし「主張」として一文にまとめる。	○総合的な学習の時間に調べたことをもとに主張文を考えさせる。	調べたことをもとに主張文が書けているか。(ワークシート)
	2	事柄意見	・情報を整理し、自分の主張を支える事実や根拠をまとめる。	○自分の主張を支える根拠について客観性や信頼性の高い資料を選んでいるか確認させる。	主張の部分とそれを支える事実とを分けて書くことができているか。(ワークシート)
	3	選材構成	・カードを使って文章構成を考える。	○序論・本論・結論のパターンを示しそれを基本として構成を考えさせる。	自分の主張と反対の立場をふまえた文章構成ができているか。(ワークシート)
第二次	4	記述	・意見文を書く。	○400字前後の文章を書かせる。	自分が書いた文章の段落の設け方、段落相互の関係、論点と論拠の関係などについて検討し、説得力のある文章にしているか。(ワークシート)
第三次	5本時	推敲	・お互いの作品を読み合い、観点にそって相互評価を行い、自分の作品を見直す。	○お互いの文章を観点にそって評価させ、自分の文章を訂正させる。	互いの書いた文章を吟味し合い自分の表現に役立てているか。(ワークシート)
	6	評価批評	・見直された作品をもとに清書する。	○清書させて自分の作品の改善点を確認させる。	説得力のある文章が書けているか。(シート)

### 6 本時の授業

- (1) 本時の目標

○相互交流を通して自分の書いた作文を見直し、説得力のある意見文を書くことができる。

(2) 本時の展開

過程	学 習 活 動	時間	基本発問・指示
導入	<p>1 前時の学習を振り返り、本時の学習の流れを確認する。</p>	2分	<p>○前時までの学習の流れを板書する。</p>
<p>観点に沿って自分の書いた作文を見直し、説得力のある文章の下書きを完成させよう</p>			
展開	<p>2 グループでそれぞれの作文を読み合い、観点にそって評価を書く。</p> <p>3 グループで出された評価について質問、討議を行う。</p> <p>4 評価をもとにもう一度自分の作文を書き直す。</p> <p>5 書き直された作文を再評価する。</p>	<p>15分</p> <p>10分</p> <p>8分</p> <p>10分</p>	<p>○4人グループを基本としてそれぞれ一人あたり5分程度で観点にそって評価しよう。</p> <p>○書かれた評価について質問を行い、具体的に自分の作文をどう変えたいか考えよう。</p>
まとめ	<p>6 書き直された作文を発表する。</p>	5分	<p>○書き直す前と後の作文をどう変えたか発表させる。</p>

教師の支援	評価（評価方法）	備考
<p>○前時までの学習の流れを明確にし、意欲的な学習につなげる。</p> <p>○本時はお互いの作文を評価しそれをもとに、より説得力のある文章を書き上げることを説明する。</p>	<p>読み手に対して明確な主張を持った文章を書こうとしているか。（観察・ワークシート）</p>	<p>学習シート①</p>
<p>○前時に読み合った作文について観点にそって評価を行わせる。</p> <p style="text-align: center;">～評価の観点～</p> <p><b>【主題の明確度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主張を支える事実と意見がきちんと書けているか。</li> <li>・構成は明確か。</li> </ul> <p><b>【材料の適切度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料の信頼性・客観性はどうか。</li> <li>・反論を効果的に使っているか。</li> <li>・段落の立て方は適切か。</li> </ul> <p><b>【わかりやすさ度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誤字・脱字等言葉の使い方は適切か。</li> <li>・論旨にあった接続詞を使っているか。</li> <li>・一文の長さは適切か。（長すぎないか。）</li> <li>・書き出しは効果的か。</li> </ul> <p>○評価をもとに付箋等を用いて作文を書き直させる。その際自分が友人に評価したことも考えて書き直させることも伝える。</p> <p>○もう一度相互評価をすることによって自分の作文が前より良くなったことを確認させる。</p>	<p>○結論に導くための根拠や理由の述べ方、材料の活用の仕方などの観点から互いの書いた文章を吟味し合い自分の表現に役立っているか。（観察・ワークシート）</p> <p>○自分の立場や考えを明確にし説得力のある表現にするためにふさわしい語句を選び、適切に使っている。（ワークシート）</p> <p>○多様な表現様式や展開、文の成分の順序などについて考えている。（ワークシート）</p> <p>○自分が書いた文章の段落の設け方、段落相互の関係、論点と論拠の関係などについて検討し、説得力のある文章にしているか。（ワークシート）</p>	<p>学習シート②</p> <p>付箋紙</p>
<p>○全員分の作文を紹介することは時間的に厳しいため、代表者を指名し発表させる。</p>		